

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議

第35回 技術研究発表会 共通セッション

スマート技術を活用した ウェルビーイングなまちづくり

2023年12月 1日

15:55～17:55

3 × 3 Lab Future ROOM4

第3条（目的）

本会は、展示会や技術研究発表会等各種のコンベンションの開催を通じて、広くアーバン・インフラとアーバン・テクノロジーの開発を行っている民間企業とそれらの成果を都市づくりに活用する全国の自治体等に呼び掛け、より高度な都市基盤施設に関する啓蒙及びそれを支えるハード、ソフトの新しい技術の開発促進並びにその成果の都市づくりへの普及・活用を図り、高度で豊かな都市社会の実現に寄与することを目的とする。

共通セッションの構成

時間	内容
5分	1 共通セッション趣旨説明 <ul style="list-style-type: none">・ テーマの説明・ 共通セッションの構成・ 各発表者の紹介
15分 × 4 = 60分	2 共通セッション出席者からの論文説明 <ol style="list-style-type: none">1) 「ファンベースの視点による愛着・推奨を高める地域づくりの考察」 (小田急八下田氏)2) 「誰もが豊かさを享受できる加古川スマートシティの現在地と展望」 (日建総研伊藤氏)3) 「大丸有が目指すインクルーシブなスマートシティの実現」 ～デジタルエリアマップを活用した多様なユーザーへのアプローチ～ (大丸有川合氏)4) ウォーカブルな街づくりへの電動モビリティ活用に関する実証実験 (大成建設藤岡氏)
40分	3 共通セッション <ul style="list-style-type: none">・ 下記テーマ(案)に基づき、参加者から意見を述べ、議論を行う。 (テーマ案) <ol style="list-style-type: none">① 地域に愛着をもってもらうためのパブリックスペースの重要性<ul style="list-style-type: none">・ 論文1)を切り口に参加者の意見交換② ウェルビーイングの向上へ向けて市民が直接参画することの重要性<ul style="list-style-type: none">・ 論文2) を切り口に参加者の意見交換③ デジタルマップ・電動モビリティによる回遊性の向上・ウォーカブルなまちづくりの実現<ul style="list-style-type: none">・ 論文3)、4)を切り口に参加者の意見交換 (途中で関連テーマに基づき国土交通省より取組説明 *なお、プログラムには、国土交通省新屋千樹都市計画調査室長 国土交通省の取り組み説明 記載予定)
10分	4 質疑・意見交換 <ul style="list-style-type: none">・ 会場からの質疑応答
5分	5 まとめ

共通セッションの出席者

	所属/名前	論文タイトル
E01	小田急電鉄株式会社 八下田 淳一	ファンベースの視点による愛着・推奨を高める地域づくりの考察
E02	大成建設株式会社 藤岡 友美	ウォーカブルな街づくりへの電動モビリティ活用に関する実証実験
E03	株式会社日建設計総合研究所 伊藤 慎兵	誰もが豊かさを享受できる加古川スマートシティの現在地と展望
E04	一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会 川合 健太	大丸有が目指すインクルーシブなスマートシティの実現～デジタルエリアマップを活用した多様なユーザーへのアプローチ～
E05	国土交通省 新屋 千樹	ウェルビーイングなまちづくりにおけるデータの活用

2023年の共通セッションのテーマ

技術研究発表会テーマ「スマート技術を活用したウェルビーイングなまちづくり」

政府の成長戦略としてsociety5.0の実現が掲げられて以降、スマートシティの実現に向けて官民が連携し、IoT、AI、5G等の新技術を活用したDXが進められています。脱炭素やダイバーシティ&インクルージョンといった社会的要請に加え、約3年にわたる新型コロナウイルス感染症の災禍により、テレワークが進展する等、**価値観や生活スタイルの多様化が進んでおり、こうした動向を踏まえた基盤整備やまちづくりがより一層求められています。**

政府も、デジタル田園都市国家構想を掲げ、デジタル基盤の整備等を行いながら、地域の魅力をそのままに、大都市の利便性と地域の豊かさを融合した、誰一人取り残されないまちづくりを推進しており、その評価にあたってはウェルビーイングを数値化・視覚化する指標が活用されることとなっている等、都市部・地方部含め、**ウェルビーイングの実現に向けたまちづくりの動きが活発化しています。**



共通セッションテーマ「ウェルビーイングなまちづくりに向けたアプローチ」

都心部・郊外部・地方都市など、様々な立地での研究・取組事例を紹介いただき、空間づくりや参画のための仕組みづくり、実証実験中の様々な技術・システムの活用など、ウェルビーイングなまちづくりの実現に向けた今後の展開可能性について議論します。

(テーマ)

- ①地域に愛着をもってもらうためのパブリックスペースの重要性
 - ・論文1)を切り口に意見交換
- ②ウェルビーイングの向上へ向けて市民が直接参画することの重要性
 - ・論文2) を切り口に意見交換
- ③デジタルマップ・電動モビリティにより回遊性の向上・ウォークブルなまちづくりの実現
 - ・論文3)、4)を切り口に意見交換

※関連テーマに基づき国土交通省より取組説明

* 国土交通省新屋千樹都市計画調査室長